

「SAGAシンクロトロンとアカデミア」
- 九州における学術・産学共同利用を目指して -

平成 18 年 9 月 12 日（火） 9 時 20 分～16 時 40 分 （講演・発表：サンメッセ鳥栖）
17 時 20 分～18 時 00 分 （施設見学：SAGA-LS）
18 時 00 分～20 時 00 分 （懇親交流会：SAGA-LS）

1. 趣 旨

九州地区の産業振興のために佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（SAGA-LS）の広範な利活用が期待されている。その為、現在SAGA-LS では産業利用に重点を置いたユーザー開拓・拡大が盛んに行われている。一方、多くのシンクロトロン光施設では、学術利用による研究推進をきっかけとして産業利用が促進されてきた。このような経過を鑑みると、SAGA-LSにおいても地域アカデミアとの共生関係は必須であると考えられる。

本シンポジウムは、このような状況下において応用物理学会（九州支部）とSAGA-LSとが合同で開催するものである。九州地区研究者のシンクロトロン光利用研究実態やSAGA-LSの学術利用への潜在需要の把握、SAGA-LSにおける学術・産学共同利用ビームライン建設の必要性について議論するとともに、SAGA-LSと地域アカデミアとの関係がいかにあるべきかについての検討を目的とする。

2. プログラム概要

(1) 9 : 2 0 - 9 : 3 0 開会の挨拶 応用物理学会九州支部長 岡田龍雄

(2) 9 : 3 0 - 1 0 : 3 0 特別講演

「シンクロトロン光の学術・産学共同利用の重要性とSAGA-LSの将来計画」

1. 上坪宏道（九州シンクロトロン光研究センター 所長）
2. 栃原 浩（九州大学大学院総合理工学研究院 教授）
3. 松井純爾（財団法人ひょうご科学技術協会 理事，兵庫県立先端科学技術支援センター 副所長）

(3) 1 0 : 4 0 - 1 1 : 5 5 企画講演 [1]

「九州地区研究者によるシンクロトロン光利用研究と学術・産学共同利用施設整備への期待」

1. 高椋利幸（佐賀大学）
2. 栗崎 敏（福岡大学）
3. 原田 明（九州大学）
4. 藤本 斉（熊本大学）
5. 古曳重美（九州工業大学）

[昼 食 : 1 1 : 5 5 - 1 3 : 0 0]

(4) 13:00 - 14:15 企画講演 [2]

- 6. 横谷篤至 (宮崎大学)
- 7. 田邊秀二 (長崎大学)
- 8. 中村祐三 (鹿児島大学)
- 9. 石黒英治 (琉球大学)
- 10. 高橋和敏 (佐賀大学)

(5) 14:25 - 15:25 ポスターセッション

「九州地区研究者によるシンクロトロン光利用研究の実態」

(6) 15:30 - 16:40 パネルディスカッション

「九州地区におけるシンクロトロン光の学術・産学共同利用をいかに増進するか」

パネリスト

- 上坪宏道 (九州シンクロトロン光研究センター)
- 梶原 浩 (九州大学)
- 松井純爾 (財団法人ひょうご科学技術協会, 兵庫県立先端科学技術支援センター)
- 近浦吉則 (九州工業大学)

コーディネーター

- 原 一広 (九州大学)

[SAGA-LS へ移動: 16:40 - 17:20]

(* 鳥栖 ~ SAGA-LS間に貸切バスを運行する予定)

(7) 17:20 - 18:00 施設見学

(8) 18:00 - 20:00 懇親交流会

3. 参加予定数 80名

4. 参加申込方法 当日来場
ポスター講演申し込み締め切り 8月1日

5. 問合せ先

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院工学研究院エネルギー量子工学部門 原 一広
e-mail: haratap@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
情報掲載URL: <http://www.saga-ls.jp/>